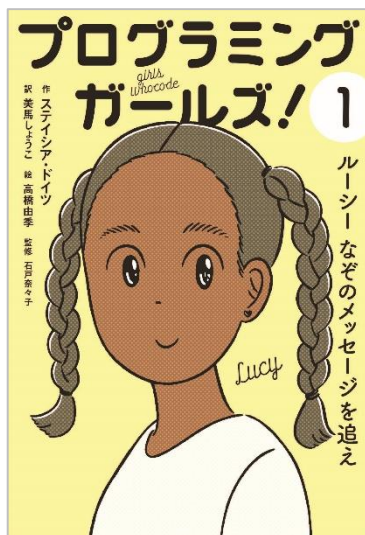


## 「プログラミング ガールズ！」シリーズ1巻 『ルーシー なぞのメッセージを追え』

石戸奈々子(NPO法人CANVAS理事長)監修 発刊のお知らせ

2019年6月21日、(株)偕成社より石戸奈々子(CANVAS理事長)が監修を務めた「プログラミング ガールズ！」シリーズ1巻『ルーシー なぞのメッセージを追え』が発売されました。ぜひ貴社媒体を通じて、本書を広くお知らせいただきたく、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

### 概要



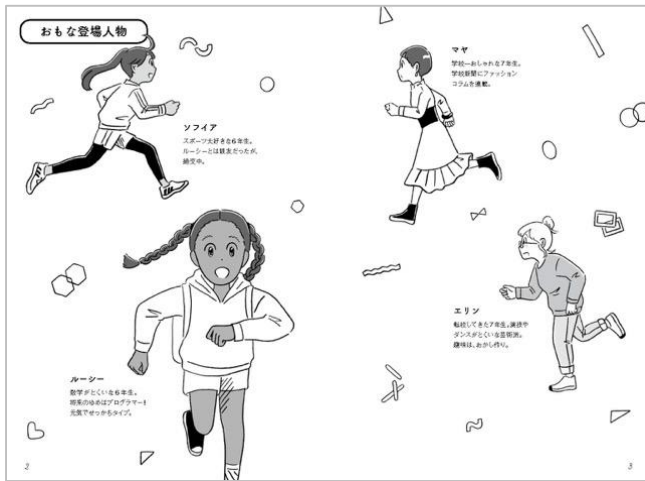
物語を楽しみながら、  
「プログラミング的思考とは？」が学べる！

原出版国アメリカでは2017年8月の発売後すぐに、  
NEW YORK TIMES BESTSELLERSの児童書部門  
第10位にランクインした、新感覚プログラミング小説。

### 【あらすじ】

新学期。6年生になったルーシーは念願のプログラミング・クラブに入部した。でも同じ班になったのは、絶交中のスポーツ少女ソフィア、近寄りがたいファッションリーダーのマヤ、なにやら秘密がありそうな転校生のエリンという、ちぐはぐなメンバーで、がっかり。そんなルーシーのもとに翌朝、差出人不明の手紙が届く。手紙には、プログラミング言語風の暗号文が書かれていた――。

いったいだれが、なんのために？ メッセージを解読するためには、班のメンバーそれぞれの知識を動員する必要がある。ルーシーは勇気を出して3人に声をかけ、みんなと協力して犯人さがしに乗りだす！



人種も文化的ルーツもさまざまな主人公たちが登場し、アメリカならではの多様性に富んだ学校生活をちょっとだけ疑似体験できる、たのしい物語。しかし、本書の最大のユニークポイントは、ストーリーを楽しみながら、「プログラミング的思考とは？」が学べるところです。たとえば「目かくしをした人を誘導する」といったエピソードを通じて、「条件分岐」「ループ」「変数」などの専門用語の意味や、プログラミング的な論理の組み立て方が、自然に頭に入ってくる仕掛けになっているのです。

とはいえ、この本の狙いは、プログラミングの技術を教えることではありません。むしろ、その前提にあるべき、基礎的な考え方やおもしろさを伝えることに主眼を置いています。「実生活の中から問題を発見する」「アイデアを実現するための手順を考え、失敗したらプロセスをふりかえって検証する」「みんなで協力してブラッシュアップする」といったような心得と、そして何より、「プログラミングができると、どんな可能性が広がるか」という、ワクワクするようなイメージを提示すること。それが、この本の狙いです。あとがきに「新しいことに挑戦しようという気持ちになるには、自分とよく似た女の子たちの物語を読む必要があるのではないのでしょうか」とありますが、この本が、これからプログラミングを始めようとしている子どもたちの好奇心をかきたてる、良きロールモデルになればと願っています。

シリーズは全4巻で、語り手が各巻で交代していきます(2巻はソフィア、3巻はマヤ、4巻はエリン。2020年3月までに順次、刊行予定)。家庭の事情があったり、じつは適応障害をかかえていたりなど、人には言えないそれぞれの悩みが明かされていきますが、いつも涙ぐましいまでに一生懸命な彼女たちの姿は新鮮で、魅力的です。今後の展開にも、どうぞご期待ください！

### 【書籍データ】

「プログラミング ガールズ！」シリーズ1巻『ルーシー なぞのメッセージを追い』  
ステイシア・ドイツ (著), 美馬しょうこ (翻訳), 高橋由季 (イラスト), 石戸奈々子 (監修)  
発売日: 2019年6月21日  
定価: 1296円  
発行元: (株)偕成社

Amazon: <http://u0u1.net/Xxz0>

偕成社サイト: <https://www.kaiseisha.co.jp/books/9784037269203>

## 【監修者プロフィール】



石戸奈々子(いしど・ななこ)

NPO法人CANVAS理事長/株式会社デジタルえほん代表取締役  
慶應義塾大学教授、博士(政策・メディア)

東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。総務省情報通信審議会委員など省庁の委員多数。NHK中央放送番組審議会委員、デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。

著書に「プログラミング教育ってなに? 親が知りたい45のギモン」「子どもの創造カス イッチ!」他、監修に「どんどんめくってはっけん コンピュータのひみつ」「さわって学べる プログラミング図鑑」など。

これまでに開催したワークショップは 3000回、約50万人の子どもたちが参加。

実行委員長をつとめる子ども創作活動の博覧会「ワークショップコレクション」は、2日間で10万人を動員する。

デジタルえほん作家&一児の母としても奮闘中。

<http://www.canvas.ws/nanako/>

## 本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

### 特定非営利活動法人CANVAS

CANVASはこどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として設立されたNPOです。これまで50万人のこどもたちにワークショップに参加いただきました。こどもたちに新しい表現を生み出してほしい、新しい世の中を築いてほしい。そんな願いを叶えるため、産官学さまざまなプレイヤーのみなさまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。

CANVASホームページ <http://www.canvas.ws>

問い合わせメールアドレス [information@canvas.ws](mailto:information@canvas.ws)



遊びと学びのヒミツ基地